



3月のほけんだより

平成 31 年 3 月 1 日発行
あいせん保育園

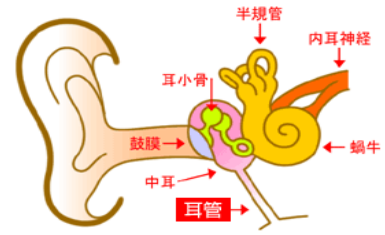
今年度も残すところあと1か月となりました。1年前を思い起こし、子どもたちひとりひとりの表情、行動に、あらためて大きな成長を実感しています。みんな元気に新年度を迎えられるよう、最後のひと月、たいせつに過ごしましょう。

耳を大切に！～3月3日は耳の日～

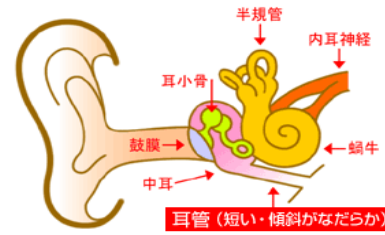
小さい子どもが罹りやすい耳の病気のひとつに、急性中耳炎があります。耳と鼻は「耳管」という管でつながっています。この「耳管」を通じて鼻の細菌やウイルスが耳の奥に入り、感染を起こして膿が溜まってしまった状態が「中耳炎」です。子どもの「耳管」は大人と比べ、太く短く、傾きがなだらかなため、細菌やウイルスが鼻の奥から入りやすく、急性中耳炎にかかりやすいと言われています。

また、急性中耳炎の治療を中断したりすると滲出性中耳炎を起こす事があります。滲出性中耳炎とは、鼓膜の後ろ側の「中耳」に液体が溜まってしまう病気です。急性中耳炎は「中耳」が炎症を起こすので激しい痛みを伴う事が多いのですが、滲出性中耳炎は痛みがない場合もあり、子どもが罹った場合は発見が遅れる事もあります。放っておくと難聴になることもある怖い病気なのです。

大人の耳



子供の耳



2月の子どもの健康

1月25日から2月25日
インフルエンザA・・・園児 11名
職員 5名



1月から2月にかけ、インフルエンザA型が流行しました。まだ寒い日が続きますので、インフルエンザや感染性胃腸炎などの感染症に注意しましょう。

子どもの花粉症

増加・低年齢化傾向にあるといわれる花粉症。子どもは症状を上手に訴えることができないので、周囲の大人が気を付けてあげる必要があります。スギ花粉が飛散する時期（1月下旬～4月）に「鼻水」や「鼻づまり」が続く場合は、スギ花粉症かもしれません。

ただし、風邪と症状が似ているので注意しましょう。花粉症の場合、眼のかゆみや充血、眼の周りの腫れやむくみを伴うことがあります。



進級・就学おめでとうございます

普段は元気いっぱいの子どもでも、環境が変わったり、何かプレッシャーがかかっていると、信じられないくらい気持ちが不安定になってしまうこともあります。もしかすると、進級・就学を「嬉しい」と思っているのは、周りの大人だけかもしれません。急に次のような姿が見られたら、何かストレスを感じているのかも…。注意してみてあげて下さい。

指しゃぶり・つめかみ

どもり

チック



1年を振り返って・・・

3月・・・進級や就学など、子ども達の成長を感じる時期ではないでしょうか。保育園では、毎月、身長・体重の計測をし健康ノートに記入しています。

1年前を思い出し、身長・体重だけではなく、色々な面の成長を感じてあげて下さい。

健康ノート

